

兵庫県知事 様

洲本市長 竹内 通 弘

平成23～25年度鳥獣被害防止総合対策交付金（鳥獣被害防止総合支援事業）で
取得又は効用の増加した施設等の利用に関する改善計画について

平成23～25年度において鳥獣被害防止総合対策交付金で取得又は効用が増加した施設等について、当初事業実施計画の目的の達成が図られるよう、下記の改善計画を実施することとするので、報告します。

記

1 事業の導入及び取組の経緯

シカ・イノシシによる農作物被害が発生し、被害防止対策として本事業を導入した。

2 当初事業実施計画の目標が未達成である原因及び問題点

金網柵の設置は集落単位で行っている。金網柵の設置した集落では被害が軽減しているが、被害があるが設置していない集落や今まで被害のなかった集落に被害が生じている。

3 施設等の利用の実績及び改善計画

金網防護柵、箱わなについては、100%利用している。箱わなによる捕獲については、被害農家自ら狩猟免許を取得し活動しているのが現状で、技術的に未熟であるため捕獲の技術指導等を行っている。金網柵については、設置場所の指導、点検の徹底を図り被害軽減に努めている。

4 改善計画

個々の農家での被害対策にも限界があるため、集落でのリーダーの養成研修等を行うことで集落ぐるみでの防除・捕獲・環境整備等総合的に被害対策を行えるよう体制作りを行い、被害軽減の目標を達成できるよう努めている。また、国（農林水産省）で示されている抜本的な鳥獣捕獲強化対策に沿ってシカ・イノシシの生息数の10年後半減に重点的に取り組んでいく。

5 改善計画を実施するための推進体制

区分	指標	事業実施後の状況					改善計画			
		目標 (25年)	計画 策定時 (22年)	1年目 (23年)	2年目 (24年)	3年目 (25年)	改善計 画策定 (26年)	1年目 (26年)	2年目 (27年)	3年目 (28年)
施設等	利用量 (m、㎡等)	15000m 36基	1900m 19基	10725m 24基	22600m 36基	13851m 12基		15000m 36基	13000m 36基	11000m 36基
	利用率 (%)			100%	100%	100%				
	収支差 (千円)	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	収支率 (%)	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	累積赤字 (千円)	—	—	—	—	—	—	—	—	—

(注) 1 利用率は、当該年度の数字を目標年度の数字で除して求める。